

1. 授業の概要(ねらい)

「論理的思考」というと、一見、難解そうで、とっつきにくい印象を与えます。しかし、要は理詰めでものを捉えたり考えたりするということ、それを分かりやすく筋道を立てて文章や口頭で表現するという事です。

そうした力を身につけてもらう1つの手段として、受講生に関心のある社会・政治・経済・国際の事象を取り上げて、それに関する新聞記事などを読んでもらい、事柄の要点や問題点を的確につかんだうえで簡潔に言い表してもらいます。

物事を正確に、合理的に捉えたうえで、自分なりの考え方をまとめる習慣や力をつけてもらうのが狙いで、受講生には、質疑応答の形で意見の表明も頻繁に求めます。

比較的短く平易に書かれた英文を、的確な日本語に置き換える授業も行います。英語は非常に論理的な言語なので、英文を読みこなすうちに徐々に論理性が養われていき、邦訳する作業を通じて日本語の表現力もついてきます。

2. 授業の到達目標

理に適った捉え方ができるようになること、ポイントを的確につかめるようになること、そして、それらについて筋の通った表現ができるようになることに主眼を置きます。

3. 成績評価の方法および基準

提出を求めるレポート課題や授業内の小論文テストの出来栄などを評価し、それらを総合的に判断して成績を決定します。

4. 教科書・参考文献

教科書

教材はすべてこちらで用意し、授業で使うレジュメや記事、資料もこちらで作成・印刷して、毎回、配布します。

5. 準備学修の内容

レポート課題の提出や英文の下調べなど準備学修も求められます。授業内で行う小論文テストでは、十分に復習したうえで臨む必要があることは言うまでもありません。

6. その他履修上の注意事項

時事的な事象について詳しく説明したうえで、受講生との間で質疑応答を行います。積極的に参加して意見を述べる姿勢が求められます。国語と英語の辞書、あるいは電子辞書が必携です。専用のノートも1冊用意してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(論理的思考の定義、授業の進め方と目標、成績評価の方法、授業への準備、心構えなどの説明を受ける)。
- 【第2回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:大相撲における女人禁制問題)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第3回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:大相撲などスポーツの国際化)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第4回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:ネット情報発信めぐり問題点)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第5回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:バドミントン男子の賭博事件)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第6回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:高崎山赤ちゃんザル命名騒動)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第7回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:「過剰反応社会」への対応とは)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第8回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:男児置き去り事件の海外注目度)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第9回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:日米ハーフのミスコン日本代表)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第10回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:イチローの日米通算最多安打)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第11回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:ホテルオークラの建て替え問題)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第12回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:目に余る「日本語英語」の氾濫)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第13回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:いじめ自殺で写真賞撤回の問題点)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第14回】 社会・政治・経済・国際の事象をテーマに考える力を身につける(扱ったテーマの事例:ヘンだぞ、朝日新聞の政治コラム)。英文を日本語にして的確に表現する力も強化する。
- 【第15回】 春期授業のおさらいと授業内テスト